

製品名: Bak ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07457**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	BAK1
別名	BAK1; BAK; BCL2L7; CDN1; Bcl-2 homologous antagonist/killer; Apoptosis regulator BAK; Bcl-2-like protein 7; Bcl2-L-7
遺伝子 ID	578.0
SwissProt ID	Q16611
免疫原	抗血清はヒト Bak 由来の合成ペプチドに対して産生された。AA 範囲: 1-50

背景

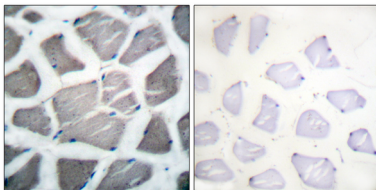
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、BCL2 タンパク質ファミリーに属します。BCL2 ファミリーのメンバーはオリゴマー

またはヘテロダイマーを形成し、様々な細胞活動に関与する抗アポトーシスまたはプロアポトーシスの調節因子として機能します。このタンパク質はミトコンドリアに局在し、アポトーシスを誘導する働きをします。ミトコンドリアの電位依存性アニオンチャンネルと相互作用してその開口を促進し、膜電位の低下とシトクロムcの放出を引き起こします。また、このタンパク質は細胞ストレスにさらされた後、腫瘍抑制因子P53とも相互作用します。[RefSeq 提供、2008年7月]、注意:偽遺伝子の産物である可能性があります。、ドメイン:BIK、BID、BAK、BAD、およびBAXは、プロアポトーシス活性、およびBcl-2ファミリーの抗アポトーシスメンバーとの相互作用に、BH3ドメインを必要とします。Bcl-2ファミリーのアポトーシスメンバー。、ドメイン:BIK、BID、BAK、BAD、およびBAXは、アポトーシス促進活性と、Bcl-2ファミリーのアポトーシス抑制メンバーとの相互作用のために、完全なBH3モチーフを必要とします。、機能:適切な刺激の存在下で、 α リプレッサーBcl-2またはそのアデノウイルスホモログE1B 19kタンパク質に結合して拮抗することにより、プログラム細胞死を促進します。、機能:適切な刺激の存在下で、 α リプレッサーBCL2またはそのアデノウイルスホモログE1B 19kタンパク質に結合して拮抗することにより、プログラム細胞死を促進します。低マイクロモル濃度の亜鉛イオンはアポトーシスの促進を阻害する。、類似性:Bcl-2ファミリーに属する。、サブユニット:Bcl-2、E1B 19kタンパク質、およびBcl-X(L)とヘテロダイマーを形成する。、サブユニット:BCL2A1と相互作用する(類似性による)。ホモダイマー。ホモダイマーの形成は亜鉛依存的である。BCL2、E1B 19kタンパク質、およびBCL2L1アイソフォームBcl-X(L)とヘテロダイマーを形成する。、組織特異性:様々な組織で発現しており、心臓と骨格筋で最も多く発現している。、

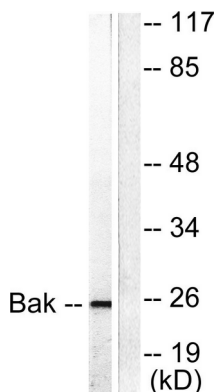
研究分野

細胞生物学

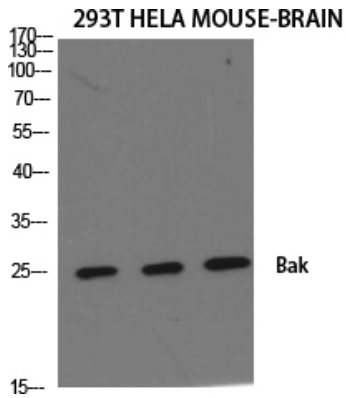
画像データ



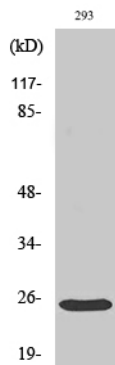
Bak抗体を用いたパラフィン包埋ヒト骨格筋組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Bak抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 希釈の Bak ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 500 に希釈した Bak ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析